経営体育成基盤整備事業　手野地区（レンコン田の整備）　【茨城県土浦市（つちうらし）】

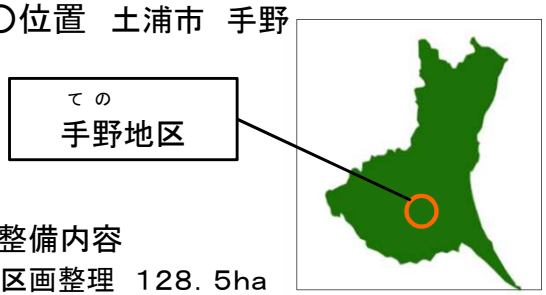
農業競争力強化のための基盤づくり

【事業のポイント】

- ○　全国でもめずらしいレンコン田の整備で高品質なレンコンの安定生産を実現
- ○　資材搬入や収穫作業の時間の削減により，労働時間が大幅に短縮
- ○　加工品によるPR活動や後継者育成など地域の活性化にも寄与
- ○　国道用地の創設による地域の道路状況の改善

【事業概要】

○位置　土浦市（つちうらし）　手野（て の）



○整備内容
- ・区画整理　128．5ha
- ・用水路工　27．3km
- ・排水路工　19．0km
- ・道 路 工　16．4km

○受益者数
- ・210人

○工事期間
- ・平成7年度 ～ 平成30年度

○事　業　費
- ・3，925百万円

○負担割合
- ・国50%　県30%　市10%　地元10%

基盤

基盤整備と農地の集積により レンコンの生産性が大きく向上

○区画形状の拡大，道路，用排水路の整備により，作業効率の大幅に向上するとともに，農地集積による安定的な農業経営を確保。

整備後のほ場（航空写真）

整備後のほ場（全景）

基盤整備

【整備前】
狭小で不整形なほ場の上，農地が分散しているため，農作業や集荷・出荷作業の面において作業効率が悪く，多大な労力を費やしていた。

不整形で小さなほ場

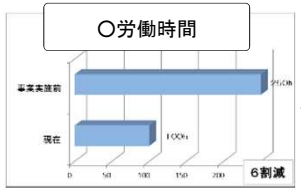
狭く曲がりが多い道路

・作業省力化による労働時間の減少 ・安定的かつ計画的な水管理による 高収益，高品質なレンコン生産を実現

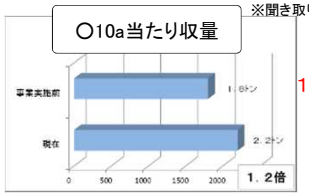
○道路の整備でユニック付トラックが導入でき，資材積込が容易になった。

○コンクリート畦畔により，ほ場内の運搬作業が大幅に省力化された

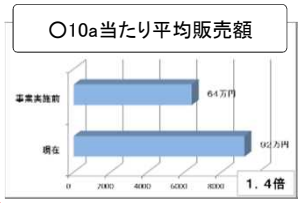
※聞き取りによる



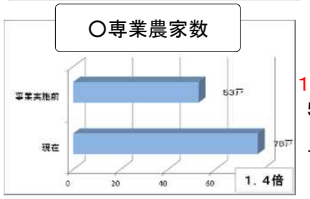
6割減
250時間
⇓
100時間



1．2倍
1.8t
⇓
2.2t



1．4倍
64万円
⇓
92万円



1．4倍
53戸
⇓
78戸

加工品やレンコンのＰＲ

積極的なPR活動の展開

○れんこんパウダーを原料とした「れんこん麺」や「れんこんケーキ」などの商品化により，積極的なPR活動を展開している。

○10市町村やJAなどで構成する協議会において毎年「れんこんフェスタ」を開催。JA土浦れんこんセンターでは音楽イベントが開かれるなど，「レンコン」をキーワードに地域の活性化が図られている。

後継者の育成

レンコン農家の魅力アップによる新規就農者の増

○地区内では53名の新規就農者がうまれており，また，地区の役員が若手レンコン農家の勉強会の講師を務めるなど後継者育成にも尽力している。